

人と医療の研究室
×
MIN-IREN

MOYA 研

Multidiciplinary Observation
may Yield an Answer.

第7回 事例テーマ

「赤ちゃんかわいいからまた欲しい」
知的障害のある夫婦の妊娠出産を
どうサポートできるのか？

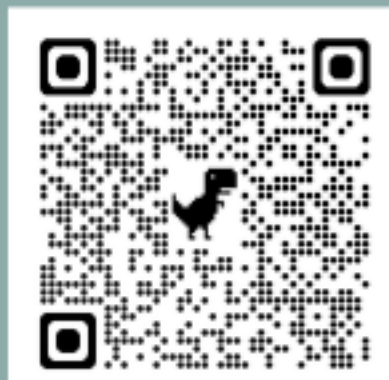
<概要>

知的障害、精神疾患既往のある夫婦が妊娠を機に結婚した。
母親となる本人は予想外の出来ごとにパニック状態となってしまうため、計画的な分娩誘発を行う方針とした。当日、出た言葉は「赤ちゃんかわいいやろうなあ、2人目早く欲しいなあ」。母児ともに無事に出産となったが、3時間ごとのミルクの時間を覚えておくことができないなど、産後の子育てには明らかに課題が多い。しかし夫婦からは、サポートの希望はない。

<もやっとポイント>

- ①周囲からのサポートに対して拒否感を表す夫婦に対して、医療者はどうアプローチできるか？
- ②養育したいかと、養育できるかは別問題？ヘルパーや保健師からのサポート、これは持続可能なのか？
- ③産婦人科医としての役割は果たせたのか？

申込みはコチラから⇒



問合せ：京都民医連医学生センター
(東桜町21-11 THE HOME1階 府立文化芸術会館下ル約20M)
連絡先：075-323-7961
igakusei@kyoto-min-iren.org



MAP

第7回

2025/ **11/21** 金

19:00 ~

場所：京都民医連医学生センター

※ZOOM併用

(申し込まれた方にミーティングIDとパスワードを連絡します)

TIME TABLE

19:00 趣旨説明
19:15 事例提示
19:30 ディスカッション
20:00 まとめ
20:15 次回以降に向けて
20:30 終了

 軽食あり